

平成18年12月期 個別財務諸表の概要

平成19年 2月15日

上場会社名 関東天然瓦斯開発株式会社

上場取引所 東

コード番号 1661

本社所在都道府県 東京都

(URL http://www.gasukai.co.jp/)

)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 佐竹 誠

問合せ先責任者 役職名 総務部副部長

氏名 水野 彦二郎

TEL (03) 3241-5511

決算取締役会開催日 平成19年 2月15日

配当支払開始予定日 平成19年 3月30日

定時株主総会開催日 平成19年 3月29日

単元株制度採用の有無 有 (1単元 1,000株)

1. 18年12月期の業績 (平成18年 1月 1日 ~ 平成18年12月31日)

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期	12,515	3.6	2,130	2.9	2,876	5.1
17年12月期	12,078	9.3	2,070	26.0	2,737	13.5

	当期純利益		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円	%	円 銭	円 銭	%	%	%
18年12月期	1,880	28.7	31.37	-	4.3	5.5	23.0
17年12月期	1,461	4.6	23.65	-	3.3	5.3	22.7

(注) 1. 期中平均株式数 18年12月期 59,957,851株 17年12月期 60,527,909株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
18年12月期	50,030	41,147	41,147	41,147	82.2	762.07
17年12月期	54,367	45,489	45,489	45,489	83.7	751.17

(注) 1. 期末発行済株式数 18年12月期 53,994,686株 17年12月期 60,518,405株
 2. 期末自己株式数 18年12月期 7,001,787株 17年12月期 478,068株

2. 19年12月期の業績予想 (平成19年 1月 1日 ~ 平成19年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	6,950	1,300	800
通期	13,600	2,500	1,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 27円78銭

3. 配当状況

現金配当	1株当たり配当金 (円)			配当金総額 (百万円)	配当性向 (%)	純資産 配当率(%)
	中間期末	期末	年間			
17年12月期	3.50	6.50	10.00	605	42.3	1.3
18年12月期	5.00	5.00	10.00	572	31.9	1.3
19年12月期 ^{予想}	5.00	5.00	10.00			

(注) 18年12月期期末配当金の内訳 記念配当 - 円 - 銭 特別配当 - 円 - 銭

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
 業績の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

1. 財務諸表等

財務諸表

① 貸借対照表

区分	注記 番号	第144期 (平成17年12月31日現在)		第145期 (平成18年12月31日現在)		比較増減
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)
資産の部						
I 流動資産						
1 現金及び預金		810,436		961,197		150,761
2 売掛金		1,293,328		1,359,350		66,022
3 有価証券		13,858,718		5,965,321		△ 7,893,397
4 製品		168,532		185,776		17,244
5 貯蔵品		101,916		84,531		△ 17,385
6 前払費用		99,602		114,581		14,979
7 短期債権		14,478		84,725		70,247
8 繰延税金資産		41,830		37,411		△ 4,419
9 その他の流動資産		107,838		180,695		72,857
流動資産合計		16,496,682	30.3	8,973,591	17.9	△ 7,523,091
II 固定資産						
(1) 有形固定資産						
1 建物		3,706,274		3,686,508		
減価償却累計額		1,378,085	2,328,188	1,456,741	2,229,767	△ 98,421
2 構築物		7,036,151		9,742,820		
減価償却累計額		6,055,501	980,650	6,121,851	3,620,969	2,640,319
3 機械及び装置		16,572,492		16,655,875		
減価償却累計額		12,373,288	4,199,203	12,690,602	3,965,272	△ 233,931
4 瓦斯井		8,188,385		8,256,028		
減価償却累計額		7,239,475	948,909	7,485,759	770,268	△ 178,641
5 車輛及び運搬具		10,368		27,368		
減価償却累計額		9,849	518	13,037	14,330	13,812
6 工具器具及び備品		214,794		211,632		
減価償却累計額		153,541	61,252	151,783	59,848	△ 1,404
7 土地			2,987,573		3,051,253	63,680
8 建設仮勘定			1,083,513		408,889	△ 674,624
有形固定資産合計			12,589,811		14,120,600	1,530,789
(2) 無形固定資産						
1 借地権			437,413		440,547	3,134
2 鉱業権			166,709		166,500	△ 209
3 ソフトウェア			36,669		32,794	△ 3,875
4 施設利用権			8,621		8,121	△ 500
無形固定資産合計			649,415		647,964	△ 1,451
(3) 投資その他の資産						
1 投資有価証券			20,778,576		22,493,642	1,715,066
2 関係会社株式	(※2)		2,416,612		2,426,702	10,090
3 従業員に対する 長期貸付金			78,656		62,460	△ 16,196
4 関係会社長期貸付金			205,000		128,000	△ 77,000
5 長期前払費用			18,780		19,257	477
6 信託建物・構築物	(※3)		337,008		325,228	△ 11,780
7 信託土地			5,214		5,214	—
8 長期性預金			600,000		600,000	—
9 その他の投資 その他の資産			283,056		321,237	38,181
貸倒引当金			△ 91,090		△ 93,390	△ 2,300
投資その他の資産合計			24,631,814		26,288,353	1,656,539
固定資産合計			37,871,040	69.7	41,056,918	82.1
資産合計			54,367,722	100.0	50,030,509	100.0
						△ 4,337,213

区分	注記 番号	第144期 (平成17年12月31日現在)		第145期 (平成18年12月31日現在)		比較増減 金額(千円)
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
負債の部						
I 流動負債						
1 支払手形		16,068		8,382		△ 7,686
2 買掛金		435,299		518,868		83,569
3 短期借入金		40,000		40,000		—
4 一年内に返済する 長期借入金	(※2)	194,000		182,400		△ 11,600
5 未払金	(※1)	1,250,807		1,509,673		258,866
6 未払法人税等		527,044		627,676		100,632
7 未払費用		90,232		91,818		1,586
8 預り金		528,475		365,728		△ 162,747
9 従業員預り金		613,156		611,841		△ 1,315
10 設備支払手形		18,562		29,083		10,521
11 役員賞与引当金		—		30,000		30,000
12 その他の流動負債		18,700		—		△ 18,700
流動負債合計		3,732,347	6.9	4,015,472	8.0	283,125
II 固定負債	(※2)					
1 長期借入金		483,200		476,800		△ 6,400
2 信託預り金		35,400		15,173		△ 20,227
3 繰延税金負債		3,047,444		2,620,346		△ 427,098
4 退職給付引当金		1,514,299		1,604,087		89,788
5 役員退職慰労引当金		65,150		84,625		19,475
6 環境対策引当金		—		66,401		66,401
固定負債合計		5,145,493	9.4	4,867,433	9.8	△ 278,060
負債合計		8,877,840	16.3	8,882,905	17.8	5,065
資本の部						
I 資本金	(※4)	7,902,185	14.5	—	—	△ 7,902,185
II 資本剰余金						
1 資本準備金		8,239,053		—		△ 8,239,053
2 その他資本剰余金						
自己株式処分差益		188	188	—	—	△ 188
資本剰余金合計		8,239,241	15.2	—	—	△ 8,239,241
III 利益剰余金						
1 利益準備金		908,302		—		△ 908,302
2 任意積立金						
(1) 海外投資等損失準備金		10,083		—		
(2) 探鉱準備金		2,019,591		—		
(3) 固定資産圧縮積立金		1,116,084		—		
(4) 別途積立金		20,480,238	23,625,998	—	—	△ 23,625,998
3 当期未処分利益		1,819,753		—		△ 1,819,753
利益剰余金合計		26,354,054	48.5	—	—	△ 26,354,054
IV その他有価証券評価差額金		3,248,660	6.0	—	—	△ 3,248,660
V 自己株式	(※5)	△ 254,259	△ 0.5	—	—	254,259
資本合計		45,489,881	83.7	—	—	△ 45,489,881
負債及び資本合計		54,367,722	100.0	—	—	△ 54,367,722

区分	注記 番号	第144期 (平成17年12月31日現在)		第145期 (平成18年12月31日現在)		比較増減 金額(千円)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)		
純資産の部							
I 株主資本							
1 資本金			—		7,902,185	15.8	7,902,185
2 資本剰余金							
(1) 資本準備金		—		8,239,053			
(2) その他資本剰余金		—		1,016			
資本剰余金合計			—		8,240,069	16.5	8,240,069
3 利益剰余金							
(1) 利益準備金			—		908,302		908,302
(2) その他利益剰余金							
①海外投資等損失準備金		—		1,469			
②探鉱準備金		—		2,066,796			
③固定資産圧縮積立金		—		1,114,271			
④別途積立金		—		21,280,238			
⑤繰越利益剰余金		—	—	2,137,762	26,600,538		26,600,538
利益剰余金合計			—		27,508,840	55.0	27,508,840
4 自己株式			—		△ 5,136,702	△10.3	△ 5,136,702
株主資本合計			—		38,514,393	77.0	38,514,393
II 評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金			—		2,633,209	5.2	2,633,209
評価・換算差額等合計			—		2,633,209	5.2	2,633,209
純資産合計			—		41,147,603	82.2	41,147,603
負債純資産合計			—		50,030,509	100.0	50,030,509

② 損益計算書

区分	注記 番号	第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)			第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)			比較増減	
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)	
I 売上高	(※1)		12,078,631	100.0		12,515,176	100.0		436,545
II 売上原価	(※1)								
1 製品期首たな卸高		132,554			168,532			35,978	
2 当期製品製造原価		6,072,573			6,230,144			157,571	
3 当期製品仕入高		3,176,225			3,306,641			130,416	
計		9,381,353			9,705,318			323,965	
4 製品期末たな卸高		168,532	9,212,821	76.3	185,776	9,519,542	76.1	17,244	306,721
売上総利益			2,865,809	23.7		2,995,634	23.9		129,825
III 販売費及び一般管理費	(※2) (※5)								
1 販売費		14,180			14,829			649	
2 一般管理費		781,480	795,661	6.6	850,718	865,547	6.9	69,238	69,886
営業利益			2,070,148	17.1		2,130,086	17.0		59,938
IV 営業外収益	(※1)								
1 受取利息		13,297			11,493			△ 1,804	
2 有価証券利息		265,824			426,070			160,246	
3 受取配当金		184,068			213,482			29,414	
4 貸貸料収入		118,552			112,068			△ 6,484	
5 その他の営業外収益		138,344	720,087	6.0	144,109	907,225	7.3	5,765	187,138
V 営業外費用									
1 支払利息		33,606			35,807			2,201	
2 有価証券売却損		—			94,913			94,913	
3 製品代精算差額		6,336			7,479			1,143	
4 寄附金		5,108			3,997			△ 1,111	
5 その他の営業外費用		7,430	52,481	0.4	18,145	160,343	1.3	10,715	107,862
経常利益			2,737,754	22.7		2,876,968	23.0		139,214
VI 特別利益									
1 固定資産売却益	(※3)	12,421			—			△ 12,421	
2 投資有価証券売却益		—			149,973			149,973	
3 収用補償金		—			152,031			152,031	
4 その他の特別利益		—	12,421	0.1	28,255	330,260	2.6	28,255	317,839
VII 特別損失									
1 固定資産除却損	(※1) (※4)	160,463			109,296			△ 51,167	
2 減損損失	(※6)	207,923			31,907			△ 176,016	
3 ゴルフ会員権評価損		5,210			—			△ 5,210	
4 貸倒引当金繰入額		54,550			2,300			△ 52,250	
5 環境対策引当金繰入額		—			66,401			66,401	
6 その他の特別損失		8,619	436,766	3.6	7,214	217,119	1.7	△ 1,405	△ 219,647
税引前当期純利益			2,313,409	19.2		2,990,109	23.9		676,700
法人税、住民税及び 事業税		997,228			1,158,057			160,829	
法人税等調整額		△ 145,307	851,921	7.1	△ 48,658	1,109,398	8.9	96,649	257,477
当期純利益			1,461,488	12.1		1,880,711	15.0		419,223
前期繰越利益			570,119			—			△ 570,119
中間配当額			211,854			—			△ 211,854
当期末処分利益			1,819,753			—			△ 1,819,753

③ 利益処分計算書

		第144期 (平成17年12月期)		
区分	注記 番号	金額(千円)		
I 当期未処分利益				1,819,753
II 任意積立金取崩額				
1 海外投資等損失準備金 取崩額			4,945	
2 探鉱準備金取崩額			537,111	
3 固定資産圧縮積立金 取崩額			40,064	582,121
合計				2,401,874
III 利益処分額				
1 配当金			393,369	
2 取締役賞与金			30,000	
3 任意積立金				
探鉱準備金		535,836		
固定資産圧縮積立金		6,119		
別途積立金		800,000	1,341,955	1,765,325
IV 次期繰越利益				636,549

④ 株主資本等変動計算書

第145期(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
平成17年12月31日残高(千円)	7,902,185	8,239,053	188	8,239,241
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				
前事業年度利益処分に係る その他利益剰余金の積立				
前事業年度利益処分に係る その他利益剰余金の取崩				
当事業年度に係る その他利益剰余金の積立				
当事業年度に係る その他利益剰余金の取崩				
当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			828	828
前事業年度利益処分に係る 役員賞与の支給				
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)				
事業年度中の変動額合計(千円)	—	—	828	828
平成18年12月31日残高(千円)	7,902,185	8,239,053	1,016	8,240,069

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
	利益準備金	その他利益 剰余金(注)	利益剰余金 合計			その他有価証券 評価差額金	
平成17年12月31日残高(千円)	908,302	25,445,752	26,354,054	△ 254,259	42,241,221	3,248,660	45,489,881
事業年度中の変動額							
剰余金の配当		△ 695,925	△ 695,925		△ 695,925		△ 695,925
前事業年度利益処分に係る その他利益剰余金の積立		—	—		—		—
前事業年度利益処分に係る その他利益剰余金の取崩		—	—		—		—
当事業年度に係る その他利益剰余金の積立		—	—		—		—
当事業年度に係る その他利益剰余金の取崩		—	—		—		—
当期純利益		1,880,711	1,880,711		1,880,711		1,880,711
自己株式の取得				△ 4,883,568	△ 4,883,568		△ 4,883,568
自己株式の処分				1,125	1,953		1,953
前事業年度利益処分に係る 役員賞与の支給		△ 30,000	△ 30,000		△ 30,000		△ 30,000
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△ 615,450	△ 615,450
事業年度中の変動額合計(千円)	—	1,154,786	1,154,786	△ 4,882,443	△ 3,726,828	△ 615,450	△ 4,342,278
平成18年12月31日残高(千円)	908,302	26,600,538	27,508,840	△ 5,136,702	38,514,393	2,633,209	41,147,603

(注) その他利益剰余金の内訳

	海外投資等 損失準備金	探鉱準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越 利益剰余金	その他利益 剰余金合計
平成17年12月31日残高(千円)	10,083	2,019,591	1,116,084	20,480,238	1,819,753	25,445,752
事業年度中の変動額						
剰余金の配当					△ 695,925	△ 695,925
前事業年度利益処分に係る その他利益剰余金の積立		535,836	6,119	800,000	△ 1,341,955	—
前事業年度利益処分に係る その他利益剰余金の取崩	△ 4,945	△ 537,111	△ 40,064		582,121	—
当事業年度に係る その他利益剰余金の積立		554,973	70,040		△ 625,013	—
当事業年度に係る その他利益剰余金の取崩	△ 3,669	△ 506,492	△ 37,908		548,070	—
当期純利益					1,880,711	1,880,711
前事業年度利益処分に係る 役員賞与の支給					△ 30,000	△ 30,000
事業年度中の変動額合計(千円)	△ 8,614	47,204	△ 1,813	800,000	318,009	1,154,786
平成18年12月31日残高(千円)	1,469	2,066,796	1,114,271	21,280,238	2,137,762	26,600,538

重要な会計方針

<p style="text-align: center;">第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)</p>
<p>1 資産の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 有価証券</p> <p>(イ) 其他有価証券</p> <p>(a) 時価のあるもの …決算日の市場価格等に基づく時価法。(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定。) なお、組込デリバティブの時価を区分して測定することが出来ない複合金融商品については、全体を時価評価し、評価差額を損益に計上している。</p> <p>(b) 時価のないもの …移動平均法に基づく原価法。</p> <p>(ロ) 子会社株式及び関連会社株式 …移動平均法に基づく原価法。</p> <p>(2) デリバティブ …時価法。</p> <p>(3) たな卸資産</p> <p>(イ) 製品 …総平均法に基づく原価法。</p> <p>(ロ) 貯蔵品 …移動平均法に基づく原価法。</p> <p>2 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産 …定額法。 なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。</p> <p>(2) 無形固定資産</p> <p>(イ) 鉱業権 …生産高比例法。 なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。</p> <p>(ロ) ソフトウェア …自社利用ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法。</p> <p>(ハ) 施設利用権 …定額法。 なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。</p> <p>(3) 投資その他の資産</p> <p>(イ) 長期前払費用 …定額法。 なお、償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。</p> <p>(ロ) 信託建物・構築物、信託長期前払費用(その他の投資その他の資産) …定額法。 なお、耐用年数、残存価額及び償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。</p>	<p>1 資産の評価基準及び評価方法</p> <p>(1) 有価証券</p> <p>(イ) 其他有価証券</p> <p>(a) 時価のあるもの …決算日の市場価格等に基づく時価法。(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定。)</p> <p>(b) 時価のないもの …同左</p> <p>(ロ) 子会社株式及び関連会社株式 …同左</p> <p>(2) デリバティブ …同左</p> <p>(3) たな卸資産</p> <p>(イ) 製品 …同左</p> <p>(ロ) 貯蔵品 …同左</p> <p>2 固定資産の減価償却の方法</p> <p>(1) 有形固定資産 …同左</p> <p>(2) 無形固定資産</p> <p>(イ) 鉱業権 …同左</p> <p>(ロ) ソフトウェア …同左</p> <p>(ハ) 施設利用権 …同左</p> <p>(3) 投資その他の資産</p> <p>(イ) 長期前払費用 …同左</p> <p>(ロ) 信託建物・構築物(その他の投資その他の資産) …定額法。 なお、耐用年数、残存価額及び償却期間については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっている。</p>

<p style="text-align: center;">第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)</p>
<p>3 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 …債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により算定し、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。</p> <p>(2) _____</p> <p>(3) 退職給付引当金 …従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上している。 数理計算上の差異については、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌期から費用処理している。</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 …役員の退任時に支給される慰労金の支払いに備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。</p> <p>(5) _____</p> <p>4 リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。</p> <p>5 ヘッジ会計の方法</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 …繰延ヘッジ処理によっている。なお、外貨建金銭債権債務等に係る為替予約取引については、振当処理を採用している。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>(イ)ヘッジ手段 …為替予約取引。</p> <p>(ロ)ヘッジ対象 …キャッシュ・フローが固定され、その変動が回避されるもの。</p> <p>(3) ヘッジ方針 …為替変動のリスクのヘッジを目的として、担当部門において担当役員の承認を受けたのち、為替予約取引を実行し、経理部門において管理業務を行っている。</p>	<p>3 引当金の計上基準</p> <p>(1) 貸倒引当金 …同左</p> <p>(2) 役員賞与引当金 …役員賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上している。</p> <p>(3) 退職給付引当金 …同左</p> <p>(4) 役員退職慰労引当金 …同左</p> <p>(5) 環境対策引当金 …PCB（ポリ塩化ビフェニル）の処分に係る支出に備えるため、今後発生すると見込まれる金額を計上している。</p> <p>4 リース取引の処理方法 同左</p> <p>5 ヘッジ会計の方法</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 …同左</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>(イ)ヘッジ手段 …同左</p> <p>(ロ)ヘッジ対象 …同左</p> <p>(3) ヘッジ方針 …同左</p>

<p style="text-align: center;">第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)</p>
<p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 …ヘッジ対象とヘッジ手段の通貨種別、期日、金額等の重要な条件が同一であり、高い相関関係があると考えられるため、有効性の判定を省略している。</p> <p>6 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p> <p>(1) _____</p> <p>(2) 消費税等の会計処理方法 …税抜方式によっている。</p>	<p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 …同左</p> <p>6 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p> <p>(1) 株主資本等変動計算書に関する会計基準 …当事業年度より、「株主資本等変動計算書に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準第6号)及び「株主資本等変動計算書に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月27日 企業会計基準適用指針第9号)を適用している。 なお、「財務諸表等規則」の改正により、当事業年度から損益計算書の末尾は「当期純利益」とされている。 また、当事業年度より「株主資本等変動計算書」を作成している。</p> <p>(2) 消費税等の会計処理方法 …同左</p>

会計処理の変更

<p style="text-align: center;">第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)</p>	<p style="text-align: center;">第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)</p>
<p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)が平成16年3月31日に終了する事業年度に係る財務諸表から適用できることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準及び同適用指針を適用している。これにより税引前当期純利益は、207,923千円減少している。</p> <p style="text-align: center;">—————</p> <p style="text-align: center;">—————</p>	<p style="text-align: center;">—————</p> <p>(役員賞与に関する会計基準)</p> <p>「役員賞与に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年11月29日 企業会計基準第4号)を当事業年度から適用している。これにより、従来の方法によった場合と比較して「販売費及び一般管理費」が30,000千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ同額減少している。</p> <p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)</p> <p>「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を当事業年度から適用している。従来資本の部の合計に相当する金額は41,147,603千円である。</p> <p>なお、財務諸表等規則の改正により、当事業年度における貸借対照表の純資産の部については、改正後の財務諸表等規則により作成している。</p>

表示方法の変更

第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
<p>(損益計算書)</p> <p>1 前事業年度まで独立科目で掲載していた「租釵料収入」(当期2,995千円)と「託送料収入」(当期9,142千円)は、金額が僅小のため、営業外収益の「その他の営業外収益」に含めて表示することに変更している。</p> <p>2 前事業年度において特別損失の「その他の特別損失」に含めて表示していた「貸倒引当金繰入額」は、当事業年度においてはその金額が特別損失の総額の100分の10を超えたので区分掲記した。</p> <p>なお、前事業年度の「貸倒引当金繰入額」の金額は、18,770千円である。</p>	—————

追加情報

第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
<p>(外形標準課税)</p> <p>「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入されたことに伴い、当事業年度から「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成16年2月13日 実務対応報告第12号)に従い法人事業税の付加価値割及び資本割については、「販売費及び一般管理費」に計上している。</p> <p>この結果、「販売費及び一般管理費」が24,574千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が同額減少している。</p>	—————

(損益計算書関係)

第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)																																						
※1 このうち関係会社に対するものは次のとおりである。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td style="text-align: right;">3,959,875</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td style="text-align: right;">2,956,018</td> </tr> <tr> <td>営業外収益(賃貸料収入)</td> <td style="text-align: right;">107,881</td> </tr> <tr> <td>営業外収益(受取配当金)</td> <td style="text-align: right;">85,805</td> </tr> <tr> <td>営業外収益(その他)</td> <td style="text-align: right;">58,375</td> </tr> <tr> <td>特別損失(固定資産除却損)</td> <td style="text-align: right;">77,956</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	売上高	3,959,875	売上原価	2,956,018	営業外収益(賃貸料収入)	107,881	営業外収益(受取配当金)	85,805	営業外収益(その他)	58,375	特別損失(固定資産除却損)	77,956	※1 このうち関係会社に対するものは次のとおりである。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td style="text-align: right;">3,979,967</td> </tr> <tr> <td>売上原価</td> <td style="text-align: right;">3,582,106</td> </tr> <tr> <td>営業外収益(賃貸料収入)</td> <td style="text-align: right;">103,274</td> </tr> <tr> <td>営業外収益(その他)</td> <td style="text-align: right;">167,840</td> </tr> <tr> <td>特別損失(固定資産除却損)</td> <td style="text-align: right;">60,336</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	売上高	3,979,967	売上原価	3,582,106	営業外収益(賃貸料収入)	103,274	営業外収益(その他)	167,840	特別損失(固定資産除却損)	60,336												
科目	金額(千円)																																						
売上高	3,959,875																																						
売上原価	2,956,018																																						
営業外収益(賃貸料収入)	107,881																																						
営業外収益(受取配当金)	85,805																																						
営業外収益(その他)	58,375																																						
特別損失(固定資産除却損)	77,956																																						
科目	金額(千円)																																						
売上高	3,979,967																																						
売上原価	3,582,106																																						
営業外収益(賃貸料収入)	103,274																																						
営業外収益(その他)	167,840																																						
特別損失(固定資産除却損)	60,336																																						
※2 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりである。 (1) 販売費 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販売手数料</td> <td style="text-align: right;">6,997</td> </tr> </tbody> </table> (2) 一般管理費 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役員報酬</td> <td style="text-align: right;">103,500</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">206,725</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">44,204</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">22,450</td> </tr> <tr> <td>旅費交通費</td> <td style="text-align: right;">23,531</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">67,564</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">102,422</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	販売手数料	6,997	科目	金額(千円)	役員報酬	103,500	給料手当	206,725	退職給付引当金繰入額	44,204	役員退職慰労引当金繰入額	22,450	旅費交通費	23,531	賃借料	67,564	研究開発費	102,422	※2 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりである。 (1) _____ (2) 一般管理費 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>役員報酬</td> <td style="text-align: right;">106,320</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">204,483</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">30,000</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">37,225</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">26,000</td> </tr> <tr> <td>賃借料</td> <td style="text-align: right;">68,794</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">134,592</td> </tr> <tr> <td>雑費その他</td> <td style="text-align: right;">94,686</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	役員報酬	106,320	給料手当	204,483	役員賞与引当金繰入額	30,000	退職給付引当金繰入額	37,225	役員退職慰労引当金繰入額	26,000	賃借料	68,794	研究開発費	134,592	雑費その他	94,686
科目	金額(千円)																																						
販売手数料	6,997																																						
科目	金額(千円)																																						
役員報酬	103,500																																						
給料手当	206,725																																						
退職給付引当金繰入額	44,204																																						
役員退職慰労引当金繰入額	22,450																																						
旅費交通費	23,531																																						
賃借料	67,564																																						
研究開発費	102,422																																						
科目	金額(千円)																																						
役員報酬	106,320																																						
給料手当	204,483																																						
役員賞与引当金繰入額	30,000																																						
退職給付引当金繰入額	37,225																																						
役員退職慰労引当金繰入額	26,000																																						
賃借料	68,794																																						
研究開発費	134,592																																						
雑費その他	94,686																																						
※3 固定資産売却益の内容 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">12,421</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	土地	12,421	_____																																		
科目	金額(千円)																																						
土地	12,421																																						
※4 固定資産除却損の内訳 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">235</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td style="text-align: right;">1,235</td> </tr> <tr> <td>機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">14,197</td> </tr> <tr> <td>その他の投資その他の資産</td> <td style="text-align: right;">61,917</td> </tr> <tr> <td>除却資産撤去費</td> <td style="text-align: right;">82,148</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">728</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">160,463</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	建物	235	構築物	1,235	機械及び装置	14,197	その他の投資その他の資産	61,917	除却資産撤去費	82,148	その他	728	合計	160,463	※4 固定資産除却損の内訳 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> <th style="text-align: center;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td style="text-align: right;">2,274</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td style="text-align: right;">2,028</td> </tr> <tr> <td>機械及び装置</td> <td style="text-align: right;">17,064</td> </tr> <tr> <td>瓦斯井</td> <td style="text-align: right;">6,992</td> </tr> <tr> <td>除却資産撤去費</td> <td style="text-align: right;">80,146</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">790</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">109,296</td> </tr> </tbody> </table>	科目	金額(千円)	建物	2,274	構築物	2,028	機械及び装置	17,064	瓦斯井	6,992	除却資産撤去費	80,146	その他	790	合計	109,296						
科目	金額(千円)																																						
建物	235																																						
構築物	1,235																																						
機械及び装置	14,197																																						
その他の投資その他の資産	61,917																																						
除却資産撤去費	82,148																																						
その他	728																																						
合計	160,463																																						
科目	金額(千円)																																						
建物	2,274																																						
構築物	2,028																																						
機械及び装置	17,064																																						
瓦斯井	6,992																																						
除却資産撤去費	80,146																																						
その他	790																																						
合計	109,296																																						
※5 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 <div style="text-align: right;">102,422千円</div>	※5 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費 <div style="text-align: right;">134,592千円</div>																																						

第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)																																								
<p>※6 減損損失 以下の資産は、遊休状態であり、今後の使用見込みがなく、土地の市場価格が下落しているため、当事業年度において減損損失を計上している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>減損損失 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県市原市</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>48,495</td> </tr> <tr> <td>千葉県千葉市</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>107,921</td> </tr> <tr> <td>千葉県長生村</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>37,704</td> </tr> <tr> <td>千葉県茂原市他</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>13,801</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td>207,923</td> </tr> </tbody> </table> <p>これらの資産に係る回収可能価額は正味売却価額を使用し、固定資産税評価額を合理的に調整した価格に基づき評価している。</p>	場所	用途	種類	減損損失 (千円)	千葉県市原市	遊休資産	土地	48,495	千葉県千葉市	遊休資産	土地	107,921	千葉県長生村	遊休資産	土地	37,704	千葉県茂原市他	遊休資産	土地	13,801	計			207,923	<p>※6 減損損失 以下の資産は、遊休状態であり、今後の使用見込みがなく、土地の市場価格が下落しているため、当事業年度において減損損失を計上している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>用途</th> <th>種類</th> <th>減損損失 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県市原市</td> <td>賃貸資産</td> <td>土地</td> <td>30,356</td> </tr> <tr> <td>千葉県千葉市他</td> <td>遊休資産</td> <td>土地</td> <td>1,550</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td>31,907</td> </tr> </tbody> </table> <p>これらの資産に係る回収可能価額は正味売却価額を使用し、固定資産税評価額を合理的に調整した価格に基づき評価している。</p>	場所	用途	種類	減損損失 (千円)	千葉県市原市	賃貸資産	土地	30,356	千葉県千葉市他	遊休資産	土地	1,550	計			31,907
場所	用途	種類	減損損失 (千円)																																						
千葉県市原市	遊休資産	土地	48,495																																						
千葉県千葉市	遊休資産	土地	107,921																																						
千葉県長生村	遊休資産	土地	37,704																																						
千葉県茂原市他	遊休資産	土地	13,801																																						
計			207,923																																						
場所	用途	種類	減損損失 (千円)																																						
千葉県市原市	賃貸資産	土地	30,356																																						
千葉県千葉市他	遊休資産	土地	1,550																																						
計			31,907																																						

(株主資本等変動計算書関係)

第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

自己株式に関する事項

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当事業年度末
普通株式(株)	478,068	6,525,806	2,087	7,001,787

(変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりである。

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく取得による増加 6,510,000株

単元未満株式買取による増加 15,806株

減少数の主な内訳は、次のとおりである。

単元未満株式売却による減少 2,087株

リース取引関係

EDINETによる開示を行うため、記載を省略している。

有価証券関係

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

種類	第144期 (平成17年12月31日現在)			第145期 (平成18年12月31日現在)		
	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
子会社株式	1,469,800	6,547,155	5,077,355	1,469,800	6,116,550	4,646,750
関連会社株式	—	—	—	—	—	—

税効果会計関係

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(第144期) (平成17年12月31日現在)	(第145期) (平成18年12月31日現在)
繰延税金資産		
退職給付引当金	537,076千円	598,043千円
役員退職慰労引当金	24,289	31,550
投資有価証券評価損	4,940	4,940
その他の投資その他の資産評価損	47,193	38,878
減損損失	78,589	90,649
環境対策引当金	—	25,097
未払事業税	24,925	20,154
賞与引当金	16,905	17,256
その他	40,968	41,940
繰延税金資産合計	774,888	868,511
繰延税金負債		
探鉱準備金	△1,145,684	△1,173,204
固定資産圧縮積立金	△657,634	△677,161
海外投資等損失準備金	△2,917	△834
その他有価証券評価差額金	△1,974,266	△1,600,246
繰延税金負債合計	△3,780,502	△3,451,446
繰延税金負債の純額	△3,005,613	△2,582,935

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異がある場合の、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	(第144期) (平成17年12月31日現在)	(第145期) (平成18年12月31日現在)
法定実効税率	40.50%	40.50%
(調整)		
事業税非課税分	△2.33%	△2.53%
受取配当金等一時差異に該当しない項目	△1.14	△0.65
住民税均等割	0.27	0.21
その他	△0.47	△0.43
税効果会計適用後の法人税等の負担率	36.83	37.10

1 株当たり情報

第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)		第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)	
1株当たり純資産額	751円17銭	1株当たり純資産額	762円07銭
1株当たり当期純利益金額	23円65銭	1株当たり当期純利益金額	31円37銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 潜在株式がないため記載していない。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、 潜在株式がないため記載していない。	

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

	第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
当期純利益(千円)	1,461,488	1,880,711
普通株主に帰属しない金額(千円)	30,000	—
(うち利益処分による役員賞与金)	(30,000)	(—)
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,431,488	1,880,711
期中平均株式数(株)	60,527,909	59,957,851

2. 比較売上高明細

	第144期 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)		第145期 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)		比較増減 金額 (千円)
	金額 (千円)	比率 (%)	金額 (千円)	比率 (%)	
天然ガス	10,323,308	85.5	10,481,077	83.7	157,769
ヨード	(1,046,157)	(8.7)	(1,229,427)	(9.8)	(183,270)
	1,452,853	12.0	1,710,439	13.7	257,586
かん水	302,468	2.5	323,659	2.6	21,191
合計	12,078,631	100.0	12,515,176	100.0	436,545

- (注) 1 カッコ内は内数にして輸出額及び輸出比率を示す。
2 受注生産は行っていない。

3. 役員の異動

(1) 代表者の異動

該当事項はありません。

(2) その他の異動

① 新任監査役候補者（平成19年3月29日付）

常勤監査役

川崎 勝好 [かわさき かつよし]（現：大多喜ガス㈱取締役経理部長）

② 退任予定監査役（平成19年3月29日付）

常勤監査役

勝又 秀夫 [かつまた ひでお]

以上